



アプリ紹介 長野県のセミの分布を明らかにしよう！
「自宅でセミ調べ_2020」

*「信州気候変動適応センター」のWebサイト
<https://lccac-shinshu.org> からお入りください。

調査の案内



長野県環境保全研究所（自然環境部）では、気候変動の影響を調べ環境の変化を感じてもらうために、長野県民のみなさんから身近な生きものや季節の情報を提供していただく仕組み「信州・温暖化ウオッチャーズ」を2011年に立ち上げ、情報収集に取り組んでいます。



調査マニュアル (PDF)



図1. 環境省・生物多様性センターの生物情報収集・提供システム

これまで、当所の前身、自然保護研究所の設立（1996年）当初から、県民や市民団体の方々に協力していただいて、さまざまな形で県内の自然情報の収集をしてきました。環境省・生物多様性センターの生物情報収集・提供システム「いきものログ」を活用した「信州の外来生物を見つけよう！」調査もその一つです。その調査では、11,482件の侵略的外来生物の情報を得ることができました（図1）。

「信州・温暖化ウオッチャーズ」の一環で、県内の野鳥関係の市民団体の方々に協力いただき、2011年から夏鳥の初認・初鳴き調査にも取り組んでいます。毎年200～300件程の情報が集まります。ただ、一般の方にとって鳥を正確に継続して観察することはハードルが高いように思います。

なるべく多くの皆さんに環境の変化を感じてもらうために、温度など気象の変化に敏感で、識別しやすい身近な生きものはないだろうかと考えたときにたどり着いたのがセミでした。

セミについては、県内6ヶ所で行う「自然ふれあい講座」の「セミの抜け殻調査」で毎年多くの子供たちに参加していただいています（8ページを参照）。さらに、若い世代に参加してもらうためには、スマホやタブレット端末のアプリを活用したものが良いのではないかと考え、esri社の情報収集アプリ「Survey123 for ArcGIS」を利用し、「自宅でセミ調べ_2020」を立ち上げました。



現在の調査状況

この6月から調査を開始し、8月末日現在約2,300件の情報をいただいています（図2）。今後この調査を継続し、クマゼミ（現在は南信等で局所的に観察されている）が県内に定着するのかどうか、比較的高所に生息するエゾゼミなどが今後どのようなようになるのかなどの分布変化を把握していきたいと考えています。また、分布の変化だけでなく、活動日数の変化なども把握できたらと思っています。そのため、同じ場所でも、日を変えて報告していただけますと助かります。

たくさんの情報をお待ちしています。

（堀田 昌伸／自然環境部）

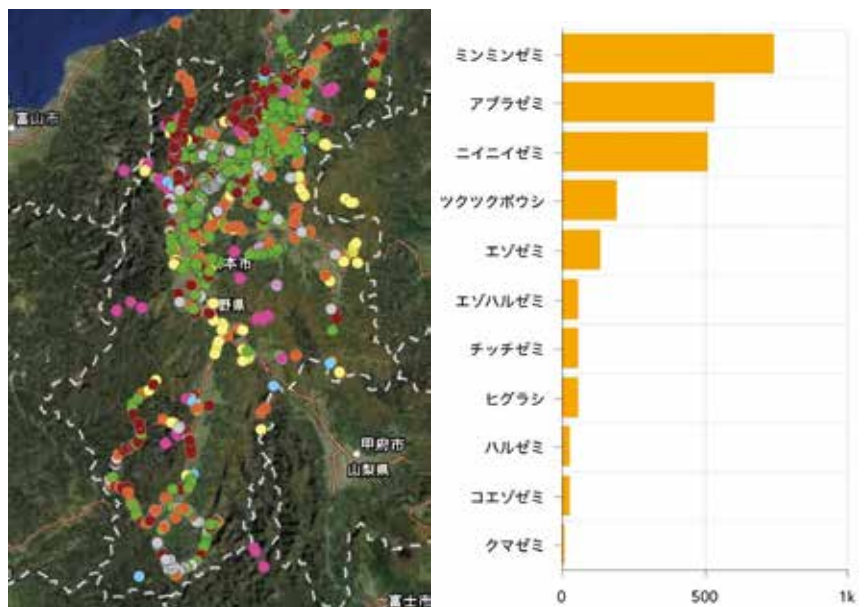


図2. 調査結果～種毎の分布と登録数（8月末日現在）